

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 2020年 2月 20日

事業所名: 子育てサポートどんぐり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	・活動の内容によっては狭い時もあるのでその時は別途場所を借りている	・活動に適した場所を公共の場で借りながら環境設定の工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・常勤の募集をかけて職員数を増やす
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	・危ないと思われる場所には職員を配置している	・利用児がより使いやすいように改築も視野に入れながらまずは、環境整備に努め、視覚的にも刺激が少なく分かりやすい環境をつくります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・ミーティングの中で改善できるように話す機会を設けている	・今後も職員間で話し合い、業務改善に努めます
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・外部評価は実施できていないが、アンケートにより結果を踏まえ改善に努めている	・外部評価を行えるようにします。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・アセスメントシートにより聞き取りを行っている	・職員間でシートが存在を知らせながら、情報共有に努めます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・利用計画書を踏まえながら、計画に反映している。	・より具体的に計画に反映していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・月ごとに計画を職員間で話し合い決めている。	・常勤で立案をしている状況ではあるので、全職員の意見を反映しながらの立案になるようにします。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児発管が主に参加しているがむりな場合でも情報を共有しながら、代わりの者が対応している	・全職員がその子の情報を共有しながら、対応できるように会議を重ねていきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・幼稚園、保育園、学校と連携をとる機会を設けている。	・母子保健との連携ができていないのでします。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	・現在、医療的ケアが必要な子どもがいないが、関係機関とは連携が取れるようにしている	・研修等に参加しながら、関係機関とのつながりを強めていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	・相談支援事業所が仲介してくれるながら連絡体制を整えている。	・相談支援事業所と連携しながら、連絡体制を今後も整えていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・連携会議を行ったり実際に子どもの様子を見に行ったりしながら情報共有に努めている。	・引き続き、連携会議を行いながら、その情報を職員間でも共有していきます。利用児が利用している園すべてと連をとりま。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・移行支援シートを活用している。	・引き続き移行支援シートを活用して情報共有をしていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	・公開療育や研修に参加している	・全職員が公開療育に行きます
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・地域の公園で出会う子ども達とは交流はある。	・幼稚園、保育園と交流できる活動を設けます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	・自立支援協議会が行う研修になるべく参加をしている。	・可能な限り、研修に参加します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・連絡帳に日々の活動写真をつながら、状況をより分かりやすく伝えられるようにしている。	・日頃から話しやすい環境をつくり、保護者との関係を高めていきます。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	・相談やアドバイスはその都度行っている ・講師を招いての勉強会を実施している	・ペアレント・トレーニングについて支援ができるように研修に参加します。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約を交わす時点でやっている	・説明をしてはいるが、しっかり伝わっているか確認をしていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・定期的にモニタリングを行い、計画についても同意を得る機会を設けている	・引き続き、定期的なモニタリングを実施し、その都度計画に反映し、同意を得ます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・その都度、対応をしている	・定期的もだが、日頃から相談に対して対応します。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・保護者同士の場が設けられるように活動の中に組み込んでいる	・保護者同士が話せる場を多く設けていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・その都度対応をしながらその場で対応が難しい場合は、職員間で話し合ってから対応に努めている	・相談内容によっては、その場で対応できない場合もあるので、今後も職員間で話し合える場を設けます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月お便りを発行している。	・毎月、情報を発信しているが、伝わっているか確認を怠らないようにする
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・情報の取り扱いについて同意書をとっている	・保護者はもちろんのこと、職員間でも再度、個人情報の取り扱いについて、確認をとる
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・送迎時や連絡帳にて伝えられるように配慮している	・伝えきれない場合は、話しあえる時間を設けるか、電話にて伝えるなどの丁寧な配慮をする
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・町内会に所属して町内会の仕事をしている	・地域住民を招待できるような活動を設ける

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・アセスメントシートにより聞き取りを行っている	・聞き取りは行っているが、医師の指示書までではないのでより、具体的な情報を求めるようにする。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・実際にあった事例をもとに職員間で話し合う場を設けている	・話し合える場の回数を増やす
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	・書面にて説明を行っている。	・具体的に記載していきます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。